

## 全員協議会会議録（平成23年4月8日開催）

- I 日 時 平成23年4月8日（金）13時30分～15時04分
- II 場 所 滝沢村役場 4階 中会議室
- III 出席者 議 長 角掛邦彦、副議長 川原 清  
議 員 相原孝彦議員他19名  
村当局 柳村村長、南副村長、盛川教育長、佐野峯企画総務部長、中村財務課長、太田住民環境部長、釜沢防災防犯課長、菊池経済産業部長、及川都市整備部長兼上下水道部長、遠藤教育部長、主浜健康福祉部長、畑村選管書記長  
事務局 中道局長、高橋次長、熊谷主任主査、勝田主任主査

### IV 協 議

#### 1 開 会 中道局長

#### 2 挨拶

角掛議長…ご苦労様です。昨夜の11時32分の地震に伴って、村三役をはじめ職員の皆さまの対応に対して感謝申し上げます。今回の東日本大震災に際し各議員におかれましてもボランティアや被災地での炊き出しを含めながらの活動大変ご苦労様でした。今回の全員協議会は、昨夜の地震を含めた東日本大震災の村の対応状況について報告をいただく事になっております。議会については、選挙が延びた影響での今後の議会運営についてご協議いただきたいと思います。

柳村村長…ご苦労様です。停電で不自由しておりましたが全員協議会で東日本大震災関係を報告したいと思いますので宜しくお願いしたい。初めに、3月18日に同意いただきました、副村長の南さんを紹介します。

南副村長…4月1日付けで副村長に就任しました南です宜しくお願いします。本来であれば3月18日の議会最終日に議場でご挨拶するところでありましたが、震災関係の対応でご挨拶が遅れましたことをお詫び申し上げます。これまで私は県行政推進の立場で仕事してまいりましたが、今後は滝沢村の住民の一人として、今後の滝沢村の将来を見据えて住民が幸せを感じ取れるように努力してまいりたい。微力ではありますが村長を補佐して村政発展と村民福祉向上のため努力してまいりますので、議員のご支援ご鞭撻を宜しくお願いします。

柳村村長…本来であれば3月11日の大震災の報告でありましたが、昨日11時32分に滝沢で震度5強の地震が発生しました、それに伴いまして対策本部を3月11日から立ち上げておりましたが、今回の地震に対応するための本部を開きました。その経過を対策本部の各部長からそれぞれ説明いたしますので、宜しくお願いいたします。

#### 3 説明事件

##### (1) 村報告事項

##### ① 東日本大震災津波被害の対応について

- ・東日本大震災津波被害の対応説明の前に昨日の地震関係について、各部長より報告する。

太田部長…職員190名が参集し、それぞれの各部で対応しました。住民環境部の状況ですが、ごみとし尿は組合で行っておりますが本日までは搬入できる状況となっておりますが、通電になっておりませんので今後の対応は考えて行かなければなりません。ごみについては、クレーンが止まっておりますが搬入については通常どおり行っております。各地域のコミュニティセンターは特段の被害はありません。

せん。

佐野峯部長…企画総務部ですが、停電で窓口業務の基幹となる住民基本台帳システムや庁内ランやファーストなどの各システムが稼働できない状況となっております。本日は一部住基システムで住民票と印鑑証明だけは発行できる。会計課並びに農協の収納業務は手処理で出来る部分を行い、パソコンの電源が入らないため税証明やパソコン画面での税相談は出来ません。庁舎の予備電源は3～4日は持つが、3月11日の震災に借りた発電機は現在沿岸部に行っており現在リースは無理である。庁舎の小規模の漏水がありました。防災無線はバッテリーの関係で24時間持つ。財務課に運転手がいるが、田沢湖線が運休のため入学式の関係で小岩井地区の篠木小学校の6年生の児童をバス運行して運んだ。

菊池部長…経済産業部の関係ですが、昨日参集後に大沢の林道と柳沢の農道は異常ありませんでした。職業相談所は電気はありませんが、相談業務は行っております。小岩井乳業部が動いていない関係で牛乳を廃棄した。村内企業の「やまびこ」さんは社員を帰した。「ミクニ」さんは元村の方で壁にひびが入った程度で支障なし。村内の銀行は停電で営業停止しているが10万円までは貸し出し可能とのことでした。大型店舗は多少商品が落ちた程度、ローソン等は商品を限定して販売しているとのことでした。

及川部長…都市整備部と上下水道部の関係ですが、道路関係ですが大沢地区の舂村～長坪線の農業集落配水のマンホールの周辺が陥没したため120mほどを全面通行止めとしております。あすみの団地の入り口付近のあすみの南5号線が前回片側通行止めでしたが被災箇所が大きくなったことから110mほどを全面通行止めとしております。河川・公園・村営住宅については特に異常はありませんでした。都市計画ですが一般住宅の被害報告は現在入っておりません。急傾斜地の関係では異常ありませんでした。公共交通関係ですがIGRとJRについては終日運休と伺っております。県北バスは通常ダイヤで運行、県交通については土日のダイヤで運行しているが夜の8時以降は運休とのこと。上水道については自家発電で対応しておりますので断水等はありません。受水槽のアパートやマンションについては停電の関係で断水となっている。今後停電が続けば給水の依頼があるかもしれませんので準備はしております。大沢の熊野神社の高台の団地12～13世帯は地下水道のため停電により水が出ないために給水車を出しております。下水道ですが地形的に低い場所が23箇所ほどありますが停電で機能していなく、ほって置くと汚水が溢れ出しますので、防ぐために発電機2台でポンプを順次動かしております。大沢の農業集落配水についても停電のために処理できないために、午後よりバキュームカーで汲み上げて公共下水道に投入する作業を実施しております。

遠藤部長…教育委員会ですが、教育関係施設での大きな支障はありませんが停電の関係で水道・暖房が使用できなく特にも便所の使用に支障をきたしております。滝沢小・一本木小・滝沢南中・滝沢第二中の4校が本日休校となっております。本日は小学校5校が入学式を予定しておりましたが、休校の滝沢小を除く篠木小・鶴飼小・滝沢第二小・滝沢東小の4校については簡素化して予定どおり実施しております。他の姥屋敷小中・柳沢小中・一本木中・滝沢中に安全確保を確認の上に午前に帰宅しております。田沢湖線運休のために篠木小児童のために村バスを運行しております。学校給食センターですが停電のために施設が稼働できないために給食の提供が出来なかったが殆どの学校が午前授業のため支障が無かったが、但しパンと牛乳については予定どおり配達になりまして、一部の学校には

提供しましたが時間の関係から配達できなく、今後万が一の避難所用と昨夜来の対応職員に提供すると共に議員にもお配りしております。社会教育施設の公民館・ふるさと交流館・体育館などについては利用に支障ありませんでしたが、停電が続く場合には夜は休館とします。

主浜部長…健康福祉部ですが、昨夜については避難所を老人福祉センターとっておりましたが、結果的には避難所の開設はありませんでした。本日ですが、各保育園とも通常に開設しておりますがハレルヤ保育園だけは午後4時までの報告を受けております。当所管の施設については特段の被害の報告は受けておりません。また、独居高齢者30名おりますが20名については確認が取れましたが、あと10名については確認中であります。停電の状況により避難所の開設も有り得ると思っているところであります。

釜沢課長…災害対策本部の状況を報告いたします。災害対策本部を役場2階会議室に開設いたしまして、午前0時40分を第1回目として計6回の本部会議を開催して対策を講じてまいりました。けが人の報告は今のところありません。消防団については夜間の巡回を行っております。停電復旧と問い合わせの対応のために職員20名ほどは夜間を徹して対応してまいりました。前回の地震でホームタンクが倒れた事例があることから、火災防止の喚起の観点から朝5時30分と6時に災害対策本部から村内放送を実施しました。また、入学式等の問い合わせなどこれまで100件ほどありました。発電の関係ですが、火力発電で秋田・八戸については11時に再開し、それ以外の青森・秋田の発電所につきましては本日中の再開予定と東北電力のモバイルメールを確認しております。情報が重複しますが、仙北町付近では昼には通電したとの情報が入っております。

角掛議長…部長並びに担当課長から説明がありましたが、お聞きしたいことがある方。高橋盛議員…村で夜中に各自治会に電話したのかが一つと、IBCラジオで色々情報を流しているが学校情報について情報が錯綜するので教育委員会とおしでの情報を流した方が良いのではないか。

釜沢課長…村からは電話しておりません。逆に各自治会からの問い合わせはありました。

遠藤部長…マスコミの周知については各学校の校長に任せておりますが、今後統一的に諮れる部分があるのであれば教育委員会として対応してまいりたい。

太田部長…大変失礼しました。住民協働課の方から各自治会に連絡を入れまして7～8割の方に連絡がつけましたが全部には通じ無かった状況にあります。

高橋盛議員…私のところにも1時1分に着信がありまして、どんな内容か解らなかつたものですから今までで初めての通知なものですから、今後あるのであれば事前に連絡があればと思ひましてのことです。

太田部長…3月11日の発生時に各自治会において色々活動していただいたことから、その意味からも状況確認の意味で連絡の電話を入れましたので今後も実施してまいりたい。

---

角掛議長…続きまして、東日本大震災津波被害の対応についての説明をお願いします。

柳村村長…3月11日発生以来一ヶ月になろうとしておりますが、これまで様々な対応してまいりました件について報告させていただきます。22年度中に完成予定の事業等について工事が出来なかった案件がありましたので報告いたします。当初、複合施設の用地について農政局の方では2月ごろとの話がありましたが、2月にもう少し具体的な内容を知りたいとのことで3月に回答しました。今回の

地震等で連絡が取れないでいましたが、更に細部にわたっての調査ものが来ておりましたので若干ずれ込んでいる状況にあります。この様な関係からほかの事業等も国・県との関係で様々出て来るのではないかと感じておりました。それらの内容等については、機会をみて皆様に説明してまいりたいと思っております。また、昨日町村会の理事会がありました、その席上で今町村会では各県の町村会に働きかけて義援金の呼びかけをしておりましたが、その額が現在1億3500万円くらいになっておりました。被害の少ない内陸部の14町村からお金を集めてと町村会の基金を使って被災町村に義援金を送りたいとの話が出まして、そのことが了承されました。金額については昨日の話では最高額が北海道町村会が5000万でありました。したがって稲葉会長からは1億を目安にする話が出されております。ただ今後県市長会がどうするのかの足並みを揃えながら対応して行くべきだとの話しになっておりました。仮に1億だとすると3000万円分は内陸部の14町村との話がありまして、それぞれ200万円との案が出されましたが滝沢村ではそれで良いのかとして保留にしていまいりました。最終的に金額をいくらかにするのかを含めまして若干検討してまいりたいと思っておりますので、これらの対応についておそらく専決処分になるかと思っておりますので、皆様方からも意見をいただきたいと思っておりますので宜しくお願いします。もう1点ですが、5日の日に谷藤盛岡市長に出向きましてお願いをしてまいりました。このまま自粛とのことでは経済が持たないことから早く何とかしたいことから盛岡広域8市町村で県が11日に「がんばろう宣言」を出すとのことがあります。それに効する形でなにか一緒になってアピールしませんかとの提案の話をして来ました。チャグチャグ馬コは是非やりたいと話をしてまいりました。当日、市の記者会見でも実施したい旨の話もしておりましたし、イベント等はなるべく中止しないような形で、少しでも内陸部が元気になって沿岸部に届けることをやるべきでないかと話をしてまいりました。今度11日の午後2時30分に「盛岡おでつて」に集まることになっておりました。知事も釜石でがんばろう宣言をすることになっておりますので、盛岡広域8市町村は「盛岡おでつて」でがんばろう宣言でアピールして行きたい。村でも今後役場入り口の広告等に「復興に向けてがんばろう岩手」を掲げて村民の意識を高めて行きたいと思っておりますので議員の皆様にも今後とも宜しくお願いしたい。

武田猛議員…義援金の負担割合のどうなるのか。なにか案が出たのか、それで良いのかで終わっているのか。

柳村村長…義援金については、テレビ報道で被災者に行かないとの話が出ておりますので、義援金の趣旨については被災した世帯にやるお金のことです。町村会が考えているのは、それぞれの被災した町村に対してやる考え方です。したがって、義援金ではなく見舞金か寄付金になると思っております。私は、その席上では基金があるのであれば1億円でも5000万円でも遣って、後から負担金として出す話しをしたんですが矢巾町長さんや九戸村長さんの方からは、なにかをすべきだとの住民の声があることから議会をとおす形で遣るべきだとの話しが出されて、そのことからそれぞれの町村がいくら出したのかが解る形が良いのではとのことでしたのでその話は了承しました。3000万を14で割りますと半端に成りますし、人口割や財政割の話もありましたけれども町村会の事務局長からは個人的には均等の案が出されましたが結論はでませんでした。滝沢村がそれで良いのかと疑問に思いましたし500万円を出せば他の町村もそれなりに追随してだすのではと思っておりました。

武田猛議員…具体的に人口割の話しがでたが、人口割か或いは生産人口などで考えて行くと比較のお互い良く納得できる金額になるのではないかと。生産人口を視野に入れて検討してはどうでしょうか。

柳村村長…市長会がどう考えているかがある。市長会も義援金を集めてました。あちらは金額が桁違いではないかと思っておりました。市長会と歩調を合わせる方が良いのではとの意見は出してまいりました。

- 
- 1 滝沢村災害対策本部から (説明員：太田部長、釜沢課長)
    - (1) 平成23年3月11日 14時46分 東北地方・太平洋沖地震発生により滝沢村災害対策本部設置
    - (2) 滝沢村内被害状況 (平成23年3月31日現在)
    - (3) 避難所運営 3月11日から16日まで開設、最大14箇所712名が一時避難
  - 2 東日本大震災津波被害滝沢村救援対策本部 (平成23年3月23日設置) から
    - (1) 各種支援等 (4月7日現在)
    - (2) 沿岸部からの避難者受け入れ状況
      - ア 個人宅 91世帯179名  
(内村内転校：小学生14名、中学生2名、合計16名)
      - イ 雇用促進住宅 3戸11名入居

東日本大震災による予算対応 (説明員：中村財務課長)

- ・ 平成23年3月22日付けの補正予算 (第8号)  
発電機等レンタルなど 3件 合計10,925千円
- ・ 平成23年4月の補正予算 (第1号)  
IPUイノベーションセンター 内壁及び空調設備等修繕など  
7件 合計55,840千円
- ・ 平成23年度から平成23年度への繰越事業
  - 1 繰越明許 いわて銀河鉄道指令システム整備補助事業など  
6件 合計202,713千円
  - 2 事故繰越 菓子築まちづくり事業など 2件 合計22,938,150円

※以上を踏まえて、資料により細部にわたり説明がなされた。

---

<質疑>

柳村議員…説明資料で保健師を雫石町に派遣した理由は。

主浜部長…沿岸の方で雫石町の旅館とホテルに避難した方の健康チェックのために派遣したものです。

川原副議長…資料で山田町に特化して派遣支援などを行っている理由は。

柳村村長…2月に山田町から鮭の稚魚をいただいて放流したという事がありました。また、被害甚大だった事等から一番最初に3月19日に私も直接町長に合っていました。町長の自宅も流されて、また家族も行方不明とのことで最初に山田町に何かと始めました。大槌町には副村長を派遣しましたが、職員の多くが流された関係上仕切っているのが自衛隊との話でありました。また、大槌町には被害が甚大だと言うことで紫波町が支援しているとの情報もはいつてきました。田老町・岩泉町・野田村・普代村にも訪問してまいりましたが、県北部で被害の大き

かった野田村にはボランティアが入って活気がある状態でありましたことから、ピンポイントになったかもしれないが山田町を支援した。町村会からも職員派遣を求められているところであり、何処に派遣かは決まっていない状況に有ります。山田町には32箇所の避難所が開設されていることから、役場職員に元気を付けて貰おうと役場中心に給食支援を行いました。

川原副議長…稚魚の事も解りますが、他の町村も見て遣るべきではないか。

菊池部長…詳しく説明しますが、各種支援等の1番2番3番は県の指示で職員を派遣しました。5番6番7番については村独自で山田町さんを支援したものです。8番9番10番については県並びに自衛隊からのお願いで支援したものです。

柳村村長…それぞれの町村がそれぞれの対応を行っておりました。当初県から指示があると思っておりましたが、県も混乱していることから指示が無かったことから横軸の付き合いのある、それぞれの町村の支援とならざるを得なかった。

熊谷議員…雇用促進住宅3戸入居とあるが3戸しか空いていなかったのか。

菊池部長…雇用促進住宅現在全体で29室入れるが現在3室の入居となっている。

遠藤議員…支援物資の受付をしていたが現在中止となったが今後の対応についてはどうなるのか。当初村長は被災者を5,000人を受け入れるとの事でしたが、申し出等があったのか。

柳村村長…1点目の物資支援についてですが、避難者91世帯179名に物資支援の思いもありましたがアピオの状況変化があり東部体育館に一旦集めまして、出し入れを行いました。179名の方から欲しい物資の聞き取りを行い供給しましたので現在のところは良いのではないかと考えており、本日をもって受付を止めました。5,000人については発信しておりません。新聞記者がなにを勘違いしたか山崎製パンから10,000個をいただいたパンを県に5,000個供給したのを勘違いして5,000人受け入れ出来ると報道したことからである。滝沢村が受け入れとなれば体育館などで4,500人受け入れは可能であります。被災者の受け入れをホテル全体で9,500人可能ですが希望者が800人であった。そのことから被災者全員の受け入れ無理のようであります。被災者は地元を離れたくないとの事のようにあります。

---

【暫時休憩14:39~14:50】

## (2) 議会関係事項について

特例選挙期日について（説明員：畑村選管書記長）

- ・特例選挙期日は平成23年5月22日から平成23年9月21日までの間で政令で定める日
- ・現時点では岩手県知事選挙、県議会議員選挙、滝沢村議会議員選挙は同時に選挙される予定。

※以上を踏まえて、資料により細部にわたり説明がなされた。

## <質疑>

武田猛議員…同時選挙だと言う事で、被災地の状況を見ると有権者名簿が無い状況でどうなるのか。

畑村書記長…選挙ですので選挙名簿確定後の選挙となる。

武田猛議員…特例法では6ヶ月までですが、場合によっては再延長もあり得るのか。

畑村書記長…現在、総務省の方も分からないとのことでした。  
角掛議長…今後情報が入りしだい事務局を通じて情報提供してまいります。

---

滝沢村議会としての今後の対応（説明員：勝田主任主査）

- ・議員定数について
- ・議員報酬について
- ・政務調査費について
- ・常任委員会について

※ 資料により説明がなされた。

---

<質疑>

角掛議長…勝田主任主査が説明した件については議会運営委員会を通じて協議して、議員全員に周知する形をとりたいと思いますがいかがでしょうか。

議員一同…異議なし

武田猛議員…特別委員会の任期はどうなるのか。

勝田主任主査…常任委員会と同じ取り扱いになります。

長内議員…議員報酬の件ですが、現在の金額を補正しての対応と20名の金額を案分するのは他町村等の動向を情報分析しながら協議願いたい。

角掛議長…長内議員の意見のとおりだと思いますので、意見を踏まえて議運で協議し議員全員の発議で決定してまいりたい。

---

その他

議員一同…なし

勝田主任主査…昨今の状況から返却いただきました防災ラジオについて、任期が延びた関係で利用の方には貸し出しますので宜しくお願いします。

---

4 閉 会 中道局長 （終了1.5時04分）